

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表 令和8年 1月

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			医療的ケアの有無や特性を考慮してスペースを分けている。
②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			児童一人に対して職員が一人以上配置する様にしている。
③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			スロープ、エレベーター、各所に手すりなどを設置している。
④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			適宜ミーティングを行い、教務改善に努めている。
⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			送迎時や面談時に保護者の意向を確認し、業務改善につなげている。
⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			事業所のホームページで公開している。
⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	今後必要になった際に外部評価を検討する。
⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			外部研修に積極的に参加して研修の内容を職員間で共有するなどして資質の向上を図っている。
⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			保護者との面談やサービス担当者会議の中で子どものニーズや課題を分析し、話し合いをもとに計画書を作成している。
⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			<input type="radio"/>	個々にアセスメントをしているため標準化されたアセスメントツールは使用していない。
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			チームで月間活動プログラムを作成している。
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			週ごとに季節感を考慮した活動プログラムを作成している。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			利用時間に応じて、活動内容を設定している。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			毎月製作等の個別活動と運動や外出支援などの集団活動を組み合わせて計画し、実施している。

⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝カンファをじっしし、その日の支援内容や役割分担について確認している。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		上記同様に朝カンファで支援の振り返りや気づいた点を共有している。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々正しく記録し、支援に改善につなげている。

⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性判断しているか	○			半年ごとにモニタリング(評価)を行いサービス計画の見直しを行っている。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			スタッフ一同ガイドラインを一読し、個別支援計画書に基本活動を組み合わせさせて支援を行っている。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			適切なスタッフがサービス担当者会議に参加している。
㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			情報共有を行っている。下校時の子供たちの状態確認や、メールでのやりとりにより連絡、調整を行っている。
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			医ケア指示書を主治医からもらい、必要時適宜連絡をとるようにしている。
㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			以前利用していた事業所等に見学へ行き、情報を共有している。
㉔	学校を卒業し、放課後等サービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	卒業者なし。
㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			実際に見学してもらい、助言をいただいた。
㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	
㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			随時参加している。

⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理 解を持っているか	○			連絡ツールを使用し、保護者との共通 理解に努めている。また、送迎時には その日の状態を伝え、共通理解を深め ている。
㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支援 を行っているか			○	
㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っているか	○			入浴等、上限回数等により利用者負担 になる場合には必ず説明をしている。
㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って います。	○			保護者からの悩み等に対し、相談に応 じ、それに沿った支援を行っている。
㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を支 援しているか			○	企画し準備中。
㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の 体制を整備するとともに、子どもや保護者に周 知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対 応しているか	○			苦情に対して職員間で共有し、迅速か つ適切に対応している。
㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信しているか	○			S N S等を活用し、活動内容等適宜発信 している。
㉗	個人情報に十分注意しているか	○			S N S等個人情報に関してスタッフ教育 を行っている。重要な書類は鍵付きの棚 にて保管している。
㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしているか	○			常傾聴し思いを汲み取る努力をしてい る。
㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っているか			○	未実施。今後実施予定。
㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に 周知しているか			○	防犯マニュアル未作成のため作成してい く。
㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出その他必要な訓練を行っているか	○			半年に一回、地震や火災等を想定し設定 も変更しながら行っている。
㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしているか	○			年に2回実施している。

④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		必要時計画書に記載し、親御さんに十分な説明をしている。
④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		現時点ではアレルギーの児童はいない。今後、そのような児童が来た場合は医師の指示書に基づき対応していく。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		積極的なヒヤリハットの提出をスタッフに周知し、事業所内で共有し、対策を立てている。